

# 2019 年度 入学 試験 問題

## 地 理 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I アメリカ合衆国にかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(33点)

アメリカ合衆国(以下、アメリカ)では、17世紀以降、ヨーロッパからの移民を中心として開拓が進められてきた。広大な土地が開拓されるにつれて、さまざまな農業が営まれることとなり、アメリカの経済発展を支える大きな役割を果たしてきた。

アメリカの開拓の歴史を振り返ってみると、17世紀前半のイギリスのピューリタンによる大西洋岸北東部のニューイングランド地方の入植にまでさかのぼることができる。それ以降も続いたヨーロッパからの移民により、アメリカの開拓が進められていくなかで、<sup>(1)</sup>東部の13州により独立が宣言された。

<sup>(2)</sup>独立した国家となったアメリカは、次々と<sup>(3)</sup>新しい国土を獲得しながら開拓前線を西へと移していった。その過程で、ヨーロッパからの移民は、開拓民として、<sup>(4)</sup>先住民の土地を奪い、その土地を農地や牧草地などに変えながら開拓を進めていった。

18世紀後半から19世紀前半には、農業開拓を円滑に進めていくためにアメリカの連邦政府は、公有地の分割制度である  制を実施した。この制度のもとでは、6マイル四方を1  として、36等分した1セクションの4分の1の区画に対して1農家を入植させた。さらに、1862年には5年間定住して農地の開拓に従事した者には160エーカーの土地を無償で与えるという  法を制定することによって自作農を育成する農業政策が実施された。

こうして開拓が進められたアメリカでは、西ヨーロッパから導入された混合農業に飼料作物であるとうもろこしが組み込まれた農業形態が形成されている。混合農業では、その土地の自然条件や社会条件に適した作物を大規模に栽培する適地適作が行われている。そのため、アメリカの従来の農作物ベルトをみると、ニューイングランド地方から五大湖周辺にかけては( 1 ), その南の中西部は( 2 ), 南部は( 3 )が広がっている。

また、年降水量( 4 ) mmの等降水量線とほぼ重なる<sup>(5)</sup>西経100度付近には、<sup>(6)</sup>小麦地帯が広がっている。中央平原を流れるアメリカ最長の  川の西側に広がる黒色の肥沃な土壤に恵まれた大草原である  から、ロッキー山脈の東麓に広がる台地状の大平原であり、その中央部にはオガララ帯水層とよばれる巨大な<sup>(7)</sup>地下水資源が広がる  にかけての地域は世界有数の穀倉地帯になっている。

ほかにも、観光保養都市であるマイアミが位置する **F** 半島のように、オレンジやグレープフルーツなどの果実や野菜を生産する園芸農業が行われている地域や、カリフォルニア北部のセントラルヴァレーのように、夏季は乾燥が激しく、高温になり、<sup>(8)</sup>冬季は降水量が多く比較的温暖という気候を活かした農業が行われている地域なども存在している。その一方で、乾燥地域が広がる西部山岳地帯では、<sup>(9)</sup>牧畜が中心であった。

問1 文中の **A** ~ **F** に入るもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問2 下線部(1)にかんして、アメリカの独立が宣言されたのは何年か。もっとも適切な年を次の(ア)~(エ)の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(ア) 1700年      (イ) 1773年      (ウ) 1776年      (エ) 1803年

問3 下線部(2)にかんして、独立時のアメリカは、北西ヨーロッパ系の移民の流れをくむ人々がその後のアメリカの政治・経済・文化の発展に大きな役割を果たすとともに、支配階層をつくっていった。この人々はどのようによばれているか。アルファベット4文字で解答欄に記入しなさい。

問4 下線部(3)にかんして、以下の1)と2)に答えなさい。

1) 1783年にイギリスとの協定により獲得した地域は、アメリカ東部を南北にのびる古期造山帯の山脈の西側の地域であった。ミッチェル山を最高峰とするこの山脈は何とよばれているか。解答欄に記入しなさい。

2) 開拓地と未開地の境である開拓前線は、別のよび方があるが、何とよばれているか。カタカナで解答欄に記入しなさい。

問5 下線部(4)にかんして、アメリカの先住民は、ヨーロッパの移民から何とよばれていたか。カタカナで解答欄に記入しなさい。彼らは、西部の辺境の地に設けられた保留地に移住させられた。

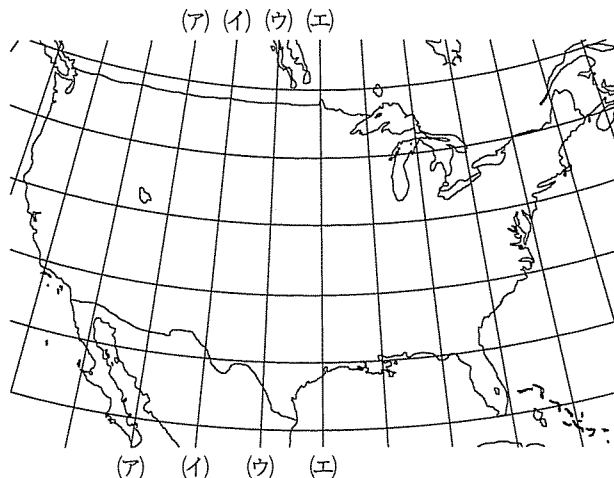
問6 文中の(1)～(3)には農作物ベルトが入る。その組み合わせとしてもっとも適切なものを次の(ア)～(エ)の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- | (1)         | (2)     | (3)     |
|-------------|---------|---------|
| (ア) デイリーベルト | コーンベルト  | コットンベルト |
| (イ) コーンベルト  | デイリーベルト | コットンベルト |
| (ウ) コットンベルト | デイリーベルト | コーンベルト  |
| (エ) コットンベルト | コーンベルト  | デイリーベルト |

問7 文中の(4)には年降水量が入る。その値としてもっとも適切なものを次の(ア)～(エ)の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (ア) 250      (イ) 500      (ウ) 750      (エ) 1,000

問8 下線部(5)にかんして、西経100度線としてもっとも適切なものを次の地図の(ア)～(エ)の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。



問9 下線部(6)にかんして、冷涼な北部と比較的温暖な南部では異なるタイプの小麦が栽培されている。南部で栽培されている小麦は、春から初夏にかけて収穫されるタイプの小麦である。世界で生産される小麦の多くがこのような小麦であるが、何というか。解答欄に記入しなさい。

問10 下線部(7)にかんして、この地域で行われている、地下水をくみ上げ、耕地の中心から円形に散水する灌漑（かんがい）農法を何方式というか。解答欄に記入しなさい。

問11 下線部(8)にかんして、このような気候の特徴を引き起こす原因のひとつとなっている風を何というか。解答欄に記入しなさい。

問12 下線部(9)にかんして、この地域での放牧は、牧場で生産された畜産物の販売を主な目的とした大規模な放牧である。このような農業形態のことを何というか。解答欄に記入しなさい。

II 世界と日本の食料問題にかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

(33点)

世界全体の耕地面積の増加率は、近年横ばいになっているが、栽培技術の進歩によって単位面積あたりの収穫量は増加しており、<sup>(1)</sup>食料生産の増加が人口の増加を上回るようになっている。だが、地域的にみると、発展途上国で多くの人々が栄養不足や飢餓に苦しむ一方、先進国では飽食による肥満や生活習慣病、食料の廃棄が問題となっている。

各国の食料・農作物の増産・分配の問題を解決したり人々の栄養の確保を図ったりする国連の専門機関である<sup>(2)</sup>F A Oの統計(2011~2013年)によれば、当時の世界人口の約  %にあたる8億を超える人々が慢性的な栄養不足の状態にあり、そのうちの約  %が発展途上国で暮らしている。つまり、食料の需要と供給には世界的に著しい偏りがある。

とくにアフリカでは、カロリー摂取量が少なく、栄養不足に苦しむ人口の割合が高い。その要因の一つとしてあげられるのが、食料生産力の差である。<sup>(3)</sup>アフリカの土壌の肥沃度は低く、(ア)は低い。また、農作業に機械や家畜がほとんど利用されていないため、農民1人あたりの農地は狭く、(イ)も低い。そのため、耕地面積を拡大して主食となる穀物生産量を増やしてきたが、急激な人口増加による消費量の急増に、農業生産が追い付いていない。また、植民地時代からの(ウ)農業の影響で、輸出用の特定の商品作物に依存する単一耕作が続けられ、自給用穀物の生産が追い付かない国が多い。

深刻な食料不足を抱えるサハラ砂漠以南のアフリカ諸国に対しては、食料支援を通じた発展途上国の経済社会開発援助・緊急援助を目的に1961年に設立された国連世界食糧計画などを通じて、また、二国間の直接援助として食料援助が進められている。日本でも青年海外協力隊の派遣や<sup>(4)</sup>ODAを通じて、食料問題を解決するためのさまざまな支援を行っている。

第二次世界大戦後、発展途上国では、食料問題の解決に向けて、品種改良や栽培技術の向上を中心に食料の増産を図る(エ)とよばれる技術革新が進められた。これは化学肥料の大量投入に対応した<sup>(5)</sup>高収量品種を開発し、これに農業機械化や

( オ ) の導入などを組み合わせることで、大幅な食料増産をめざすものである。東南アジアや南アジアでは、( カ ) や小麦、中部・南アメリカでは小麦を中心に導入され、1960年代から1970年代にかけて穀物生産量を大きく増加させ、多くの国々で食料自給率の改善がみられた。

食料の需要と供給は、政治経済の動向のほか、気象や衛生状態など、さまざまな要因に影響される。近年では、2007年から2008年にかけて、世界の食料価格が高騰した。この原因として、干ばつで穀物生産量が減少したことや、原油価格が高騰して肥料などの農業関連物資の価格や流通コストが上昇したこと、( キ ) 向けの需要増大によって原料の  をめぐる競合が起きたこと、生活水準の向上にともなって食肉需要が増大するなかで穀物価格が上昇したことなどがあげられる。

なお、<sup>(6)</sup>日本の食料自給率は、先進国のなかでも非常に低く、世界一の食料輸入国となっている。食料自給率が低いと、外国の産地の状況や国際市場の影響を直接受けることになってしまう。これに対して、日常的に消費する食料への国民の関心を高めるための「食育」や、輸入農作物が環境に与える負荷を数値化した( ク )、地域内で生産された農産物の消費を促進する( ケ ) などが提唱されている。

問1 文中の( ア )～( ケ )に入るもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| ①フェアトレード  | ②緑の革命      | ③焼畑         |
| ④大麦       | ⑤遺伝子組み換え作物 | ⑥じゃがいも      |
| ⑦畜産革命     | ⑧フードスタンプ   | ⑨地産地消       |
| ⑩労働生産性    | ⑪灌漑(かんがい)  | ⑫輸出増大       |
| ⑬白い革命     | ⑭米         | ⑮バーチャルウォーター |
| ⑯飼料       | ⑰フードマイレージ  | ⑱知的生産性      |
| ⑲プランテーション | ⑳資本生産性     | ㉑土地生産性      |
| ㉒トレーサビリティ | ㉓輸入増大      | ㉔バイオ燃料      |

問2 下線部(1)にかんして、次の北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジアの地域別の人口増加率（1960年を100%とする、単位：%）を示す表から、アジアとヨーロッパを示したものをそれぞれ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

地域	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2016年
A	126	155	189	219	247	263
B	128	168	223	287	368	430
C	113	124	137	153	167	175
D	108	115	119	120	122	122
世界計	122	147	176	203	229	246

出所)【世界国勢図会 2017/18年版】より作成

問3 下線部(2)と(4)の日本語名を解答欄に記入しなさい。

問4 文中の  と  に入るもっとも適切な数値を次の選択肢から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

A: ① 4    ② 14    ③ 24    ④ 34    ⑤ 44

B: ① 18    ② 38    ③ 58    ④ 78    ⑤ 98

問5 下線部(3)にかんして、こうした土壌で農業を行ううえで、肥料の利用が重要である。次のアフリカ、北・中部アメリカ、オセアニアの地域別の肥料の消費量と耕地1haあたり消費量を示す表（2014年度）から、アフリカを示したものを選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

地域	消費量（千トン）	耕地1haあたり消費量（kg）
A	3,464	69.8
B	28,347	114.4
C	6,017	22.2
世界計	193,290	122.0

出所)【世界国勢図会 2017/18年版】より作成



問6 下線部(5)にかんして、病気・乾燥に強いアフリカ稲と高収量のアジア稲を交雑させた高収量品種の名称を、解答欄に記入しなさい。

問7 文中の  に入るもっとも適切な穀物の名称を、解答欄に記入しなさい。  
 なお、次のグラフは  の主な輸出国の割合（2013年度）を示したものである。

ブラジル	アメリカ	アルゼンチン	ウクライナ	その他
21.4%	19.5%	16.2%	13.5%	29.4%

総輸出量：1億2,422万トン

出所)『世界国勢図会 2017/18年版』より作成

問8 下線部(6)にかんして、次の日本の米・小麦・野菜・牛肉・大豆の自給率の推移（重量ベース，単位：％）を示す表から、牛肉の自給率を示したものを選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

品目	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年
A	95	81	72	39	43	40
B	11	4	5	2	5	7
C	100	99	95	85	79	80
D	28	4	14	7	14	15
E	95	100	107	104	95	98

出所)農林水産省資料「食料自給率の推移」平成28年度版より作成

問9 次の表は各国のいくつかの農業統計値を示している。ア国～ウ国にあてはまるもっとも適切な国名を下の〔選択肢〕から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	ア国	イ国	ウ国
第1次産業従事者率(%)	28.3	3.4	2.6
耕地率(%)	14.4	12.3	6.0
牧場・牧草地率(%)	41.8	1.7	46.7
1人あたり穀物供給量(米)(kg/年)	78.2	59.9	11.0
1人あたり穀物供給量(小麦)(kg/年)	63.4	45.0	70.5

出所)『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』より作成

〔選択肢〕

①ノルウェー	②中国	③ナイジェリア
④エジプト	⑤日本	⑥オーストラリア

Ⅲ 西アジア・中央アジアにかんする次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

(34点)

アフガニスタンから地中海にかけての地域は西アジアとよばれる。一方、中央アジアとよばれる地域は、<sup>(1)</sup>カフカス諸国から、タジキスタンや中国、アフガニスタンにまたがる高原である（ア）高原や、テンシャン（天山）山脈にかけての地域を指す。西アジアや中央アジアの国では、中央アジア北部のカザフスタンの面積が約272.5万km<sup>2</sup>ともっとも大きく、（イ）が約220.7万km<sup>2</sup>で2番目に大きい。また、これらの地域の国の人口をみると、イランと（ウ）が約8,000万人と多い。

西アジア南部に位置するアラビア半島は紅海からペルシア湾に向かって標高が（エ）くなっており、大部分の地形は安定陸塊で、卓状地や楕状地が広く分布している。アラビア半島北部には、ティグリス川とユーフラテス川といった流量の大部分を上流の湿潤気候地域に依存し砂漠地帯を貫く（オ）河川があり、それらによって形成された肥沃な沖積平野が広がっている。また、アラビア半島は<sup>(2)</sup>北回帰線の付近に位置している。北回帰線の周辺地域の気候は、赤道付近で上昇した大気が集積し、密度を増して下降気流となることで発生する（カ）高圧帯の影響を受ける。このため、アラビア半島を含む西アジアと中央アジアの多くは乾燥地域であり、大部分の地域が<sup>(A)</sup>砂漠気候や<sup>(B)</sup>ステップ気候に分類される。たとえば、イラン北部では海からの距離が遠く湿った風が入りにくいことや、山脈の風下に位置することが原因で、カヴィール砂漠などの広大な砂漠が続いている。また、ロシア語で「黒い土」を意味しカザフスタン北部に分布する土壌であるチェルノゼムは、降水量が少ないステップ気候に分布しているため腐植層の流出を免れている。ただし、地中海沿岸から<sup>(3)</sup>カスピ海の南部、テンシャン（天山）山脈の北麓にかけては、<sup>(C)</sup>地中海性気候が带状に分布している。

このように、乾燥した地域が多い西アジアや中央アジアでは、人々は限られた場所にしか定住することができない。そのため、ティグリス川やユーフラテス川周辺や、オアシスのように水の得られる場所に都市が成立した。また、西アジアや中央アジアは、<sup>(4)</sup>中国、インド、エジプト、ギリシャ、ローマを結ぶ交通の要衝として重要な役割を果たした。

問1 文中の（ア）～（カ）に入るもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問2 波線部(A)～(C)に該当するケッペンの気候区分を表す記号を解答欄に記入しなさい。

問3 下線部(1)にかんして、カフカス諸国に該当する独立国を次の選択肢から3つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

①ブルガリア	②カザフスタン	③オマーン
④アゼルバイジャン	⑤カタール	⑥ウズベキスタン
⑦キルギス	⑧アルメニア	⑨シリア
⑩イエメン	⑪トルクメニスタン	⑫ジョージア

問4 下線部(2)にかんして、北回帰線の緯度を解答欄に記入しなさい。

問5 下線部(3)にかんして、カスピ海について述べた次の選択肢から正しい記述を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ① カスピ海は世界最大の湖で、面積は約 55 万 km<sup>2</sup> である。
- ② カスピ海の湖面標高は約 28 m である。
- ③ カスピ海の南岸の都市ではラムサール条約が調印された。
- ④ カスピ海の最大深度は約 125 m で、南に向かって深くなっている。

問6 下線部(4)にかんして、古くから中国とヨーロッパを結ぶ歴史的な交易路を総じて何とよぶか。カタカナで解答欄に記入しなさい。

問7 西アジア・中央アジアの都市について述べた次の選択肢から正しい記述を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ① バグダッドはユーフラテス川中流部に位置する都市であり、イスラーム世界の政治・経済・文化の中心地として栄えた。
- ② アンカラはユンコイ高原の中央部に位置する都市であり、農産物取引の中心地である。
- ③ アスタナはカザフスタンの首都であり、ソビエトから独立ののちに行政上の中心地として開発された。
- ④ リヤドはアラビア半島の北東部に位置する都市であり、ペルシア湾のメッカと鉄道で結ばれている。

問8 西アジアの国々の国名、主な宗教、加盟する国際機関、2015年の1人あたり国民総所得（GNI）の組み合わせとして、もっとも適切な選択肢を選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	国名	主な宗教	国際機関	1人あたりGNI
①	イラク	イスラム教	C I S	4,496ドル
②	アラブ首長国連邦	イスラム教	O P E C	40,469ドル
③	クウェート	イスラム教	O P E C	9,101ドル
④	キプロス	ユダヤ教	E U	21,864ドル